



「イサナ」の導入で、書類に不備があった際の訂正依頼がスピーディにできるようになった

# 「イサナ」で多数のFAXをクラウド化し業務の効率が格段にアップ

(株)AOKI

AOKIは、AOKIホールディングスを親会社とする大手ファッション企業だ。メンズ・レディースおよび雑貨を主要な商品とし、AOKIとORIHICAの2つの

業態を全国に700店舗以上展開している。AOKIが、エディックワークスの「isana（イサナ）」を導入したのは、2016年2月のことだった。

「イサナ」は、社内のFAX業務をクラウド上で完結できるサービスで、FAXの確認から加筆、返信、検索、管理といった業務を全てペーパーレスで実現。店舗から日夜流れてくるFAXをクラウドに保管して、振り分けることができる。

導入した経緯を、AOKI人事部ダイバーシティ推進課 河野純子係長は、こう語っている。「人事労務関係の申請書類は年間2万8000件もありました。特に、各店舗からのパートナー社員（パート）の入社書類が多くなっていました。この他に、

産休・育休・介護のための休暇届などのさまざまな制度の書類があります。業務改善をしよう、書類の照合作業を外注しようと考えたとき、いろいろな会社のクラウドサービスを調べました。その中で、一番説明が丁寧で対応がスピーディだったのが、エディックワークスさんだったので」

## 導入で入社手続きが早くなり、大幅に業務の効率が改善

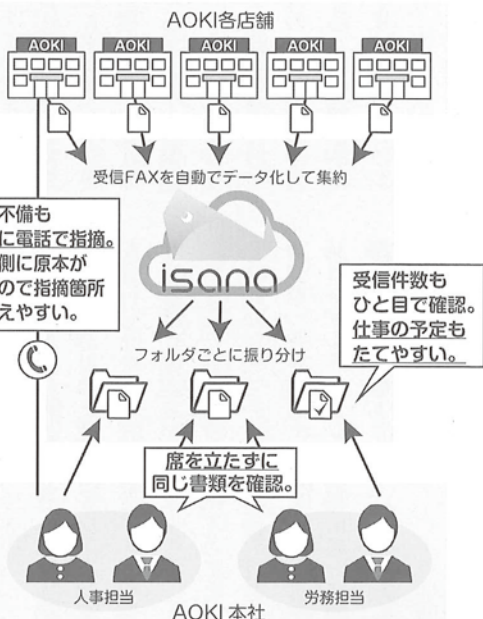
各社員・店舗は必要に応じて、入社、産休、病欠・介護休暇（パートから正社員などの）社員区分の変更の各種申請書類を書き、店長やエリアマネージャーの決裁をもらってから原本を本社労務厚生課や人事部など担当部署に郵送する。書類は本社の担当部署の決裁を受け、最終的に各社員・店舗のファイルに納められる。

問題は、郵送にタイムラグがあることだった。北海道など遠方からでは横浜市の本社に到着するまで約3日かかる。宛先を間違えたため別の部署に届いてしまい、探さなくてはならないこともあったが、「イサナ」を使うことよってこの負担が大幅に軽減された。作業フローはいたってシンプル。各店舗は決められた番号にFAXをす

る。するとクラウド上にFAXデータがたまり、担当者が一日に1、2回チェックして「イサナ」画面上に20以上設けられたフォルダに振り分ける。各フォルダには「未処理が○通」という表示が出て、プレビューで書類を見ることが出来る。データは閲覧した人がステータスを変更し、一定期間保存した後に削除される。作業の進捗を管理したり、コメントを付けて管理や共有ができる機能は「イサナ」の人気機能である。

「書類が先に見られるので、不備があるかが届いていないかがあらかじめ分かり、連絡して修正が可能

です。何通来ているかが見えるので、仕事の予定も立てられます。人事担当と労務担当は別フロアですが、「イサナ」の導入により、自席で同時に同じ書類を見て話すこともできるようになりました」



「イサナ」の運用によって、郵送によるタイムラグがなくなり、スケジュールが立てやすくなり業務改善が実現した

ど業務改善に取り組み、2年後に外注をやめて内製化した。それだけでも大きな進展なのだが、河野係長はもう一歩先を考えている。「イサナ」には、クラウド内のFAX文書の自動振り分け、自動返信の機能があります。店舗から到着確認のための問い合わせも多数あるため、今後はこちらの機能の活用も考えていきたいと思っています」

「イサナ」の導入においては初期費用2万5000円、月額費用6400円からお手頃価格（各税別）。各社の業務に合わせてステータスの名称変更やフォルダの構成を自由に設定でき、AOKIの業務改善に大きく貢献している。

企業DATA  
株式会社AOKI  
所在地/横浜市都筑区茅ヶ崎中央24-1  
店舗数/AOKI 574店  
ORIHICA 137店  
社員数/2661人（正社員のみ）  
店舗数、社員数共に18年3月31日現在